

# 灯



新年の豆田町は天領日田お雑祭りの準備で何となく慌ただしくなる。

豆田地域には、全国の観光雑祭りの元祖として、また観光日田市の脊の中心地としての自負がある。わが家も

一般公開二十五周年の節目の年を迎えるので新しいアイデアを盛り込んでいきたいと準備している。

## 新生豆田町



草野 義輔

日田市には正規の観光協会があるのだが、豆田町にはそれとは別に観光にかかわる多様な施設が集まった豆田観光協議会という、小さいながらもユニークな組織がある。今、観光には素人ながら私が会長を仰せつかっているが、先般も会合を開き、雑祭りの対応について相談した

ところだ。

今年は念願であった電柱の地下埋設工事が全町内で完成する。二月十一日にはわが昭和学園のバトン部や吹奏楽部も協力して祝賀パレードを行う。一年ほど前「豆田町改造」と題してこのような地域挙げての努力が新しい豆田の町づくりにつながり、更なる魅力を醸し出せば、と書いた。

十一日は主要な施設は記念日として初めて無料公開日とすることにした。豆田という良質な素材が一段と魅力を身につけたのだから、これをどう生かすかは一人一人、一軒一軒の地道な努力が肝要だ。

豆田観光協議会の横の連絡機能も新生豆田町の核になれるよう、踏ん張りどころである。正念場と思う。(昭和学園高校理事長・日田市)